

### 3 集会部より

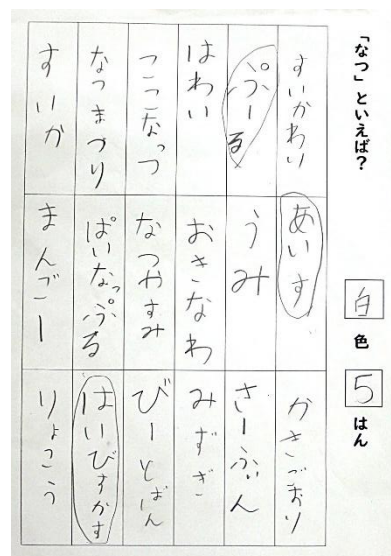
#### (1) 国語集会「レッツ！平小タイム」（異学年班活動）

本校では、毎月2回程度、4色24班に分かれ、清掃活動や国語集会を通して、異学年での交流を図っている。国語集会では、発達段階や活動のしやすさを考慮して、上学年と下学年に分かれ、異学年の子どもたちが交流している。様々な言葉に触れ、楽しく活動しながら語彙を増やし、コミュニケーション力を高めるとともに主体的に活動できる子どもの育成を目指している。



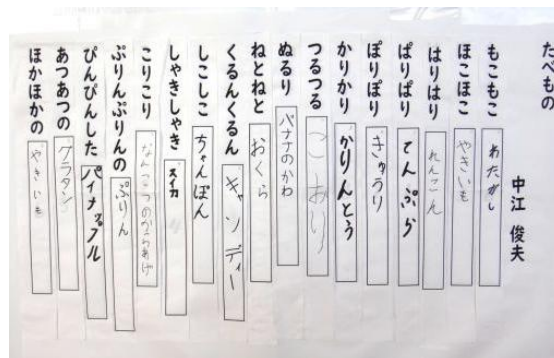
#### ① アイスブレイク活動

アイスブレイクとして、しりとりやゲーム（「ことばのかいだん」や「ことばあつめ」など）に取り組むことにより子どもたちの気持ちがほぐれ、異学年での班活動において話しやすい雰囲気をつくることができた。さらに班の最高学年である3年生や6年生が主体となり、ゲームや話し合いの流れに沿って活動を進めることで、リーダーとしての意識の高まりが見られた。また聞き方・話し方に自信をもてる子が増え、積極的に自分の思いや考えを発言し、自ら考えて行動しようとする姿が見られるようになってきた。



## ② 詩づくり

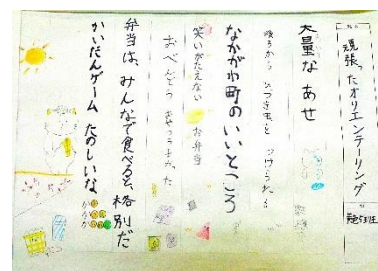
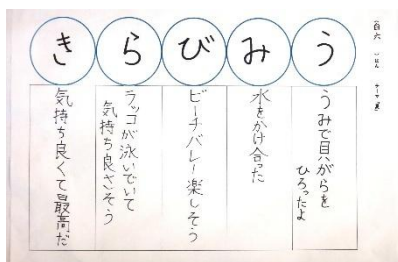
下学年では、『たべもの』（中江俊夫：作）の詩を活用し、擬音から想像する食べ物を集めたり、「夏」といった言葉をキーワードに言葉を連想したりして、言葉から想像を広げ、思い浮かんだ言葉を出し合い、連詩を作った。それぞれがつくった一行詩を班ごとに集めて1つの詩を完成させた。班のみんなで一つの作品を作る楽しさを味わうことができ、言葉で伝え合う喜びを感じることができた。



上学年では、季節や行事に合わせて決めたテーマをもとに一人一行の詩を作り、班で並び替えてオリジナルの詩を完成させる活動に取り組んだ。初めは、生活経験の中で感じたことや思ったことを俳句形式で表現しようとする子どもが多く、持ちよった一行詩を並べ替えることに戸惑いを感じていた子どももいた。しかし活動を繰り返すうちに、友達の一行情のまとめ方や他の班の作品に触れ、表現に広がりが見られるようになってきた。

### 【これまでのテーマ例】

夏 遠足
前期前半の思い出
夏の思い出
オリエンテーリング遠足
秋いっぱい
一年間の思い出





### ③ 授業参観

本校の取組を保護者に知ってもらうために、上学年と下学年に分かれて授業参観を行った。仲間と力を合わせて一つのものを作り上げる楽しさや喜びを味わっている子どもたちの姿や話し合いで自信をもって自分の意見を伝えている姿をどの保護者にも見せることができ、異学年で交流することのよさや国語集会の取組の意義を周知することができた。



### (2) 国語集会の取組から

初めのころは活動の中で消極的な子どもが多く、自分の意見を、自信をもって言えなかったり、聞かれても答えられなかったりすることもあった。上学年の子が優しく声をかけたり、じっと話を聞いてくれたりしたことで、安心して活動に参加できる子どもたちが増えてきた。活動回数を重ねるごとに、話すことに苦手意識があった子どもも自信をもって自分の意見を伝えることができるようになり、いくつかの意見から一つに決定するときも、どの意見も尊重しながら一つにまとめようと言葉を選びながら決められるようになってきている。さらにもっと活動することで仲間意識も高まり、友達や自分の話す言葉を大切にしながら周りの人と接しようとする姿が多く見られるようになってきた。

